

(10) 在ブラジル日本大使館報告 (7月30日 18:00-19:00)

場所 サンパウロ支所

参加者 吉田団長、定森氏、小松サンパウロ支所長、石橋サンパウロ支所次長、佐藤サンパウロ支所員、高田団員

協議項目

- 在日日系ブラジル人の支援について
- ブラジルにおける草の根技術協力事業について

概要

サンパウロ支所にて、ブラジルにおける草の根技術協力事業全般につき協議を行う。その中で議題となった事柄については以下のとおり。

- 松谷事務所長からの話として、サンパウロ支所の管轄に、JICA-NGO デスクの設置を考えているということがあった。今後サンパウロ支所にて準備を進めていくことが考えられる。
- 群馬県内の日系ブラジル人支援について、サンパウロ支所としては、国内機関の積極的な取り組みをお願いしたい。もし、群馬県内で受け皿となる団体があれば、そちらにポルトガル語の教材を送るなどして、支援をしていくことができる。

所感

日系人支援に対して、サンパウロ支所が慎重な配慮をしていることがうかがわれた。群馬県の日系ブラジル人に対する支援については、国内機関のみで取り組むよりも、JICA として方向性を定める必要があると考える。また、在日日系ブラジル人の問題をブラジルの日系人協会が憂慮していることも理解できたので、在外事務所、中南米部、国内機関で支援体制が組んでいければ望ましいと考える。

(11) モンテアズール (Monte Azul) 視察 (7月31日 10:00-15:00)

場所 サンパウロ (S o Paulo) 市内

参加者 吉田次長、定森氏、富田団員

視察項目 ● ブラジル (都市部) における NGO のコミュニティ開発活動の例

(目的) ● 活動の創始者 Ute Creimer 女史訪問

概要

サンパウロ市内には、ファベラ (Favela) と呼ばれる貧困層の居住地区が散在している。モンテアズール (Monte Azul, 「青い山」の意味) はその中のひとつである。

ファベラはブラジルにおける土地開発の歴史の中で形成されてきた。19世紀～前世紀、ブラジル政府が積極的な土地開発政策を採用していた際に、政府は開発者に対して、自由な土地開発の条件として開発した土地の一定割合を政府に対して寄付させた。これらの寄進地の多くは、当然に利用価値の低い「急峻な斜面」や「丘陵地の間の狭隘な谷」であった。これらの土地は個人に所有権が設定されない政府の土地であったが、サンパウロなどの都市が成長するにつれ、これらのファベラに、地方からの移住者などの貧困層が住み着くようになり、都市の各地に貧民街を形成していった。

このような形成の経緯から、現在でもファベラのほとんどは貧困層が生活し、凶悪犯罪発生率の高いサンパウロの中でも、特に危険な地域とされている。

モンテアズールは、このようなファベラのひとつであるが、NGO による活動がファベラに住民のコミュニティを創り上げ、所得向上や治安改善等に成功した例として有名である。

(以下は創設者からのインタビューによる) モンテアズールでの NGO によるコミュニティ創造活動は、1960年代末に一人のドイツ人女性がドイツ政府の青年ボランティアとしてブラジルを訪れたことから始まる。彼女の名前はウテ・クレイマー (Ute Creimer) といい、シュタイナー学派の教育学を修めた教師としてブラジルで1年間ボランティア活動をした。ウテ氏は活動を終えてドイツに帰国した後もブラジルに対する思いが断ち難く、1970年、再びシュタイナー学派の学校教師としてブラジルを訪れた。

ウテ氏が教鞭をとるシュタイナー学派の学校は、ブラジルの上層階級の子弟を教育していたが、ウテ氏は上層階級の子弟を学校で教育する傍ら、ファベラの子どもたちが教育を受ける機会も与えられず、貧しい生活から抜け出られない状況を看過することができなかった。こうしてウテ氏によるモンテアズールでの活動が始まった。

ウテ氏によれば、彼女の活動の基本は、まずモンテアズールの子どもたちに教育を受ける機会を与え、自力で貧困から抜け出る機会を与えること、がひとつであり、もうひとつは恵まれた環境に育った若者をモンテアズールでのボランティア活動を通して、貧困層の若者の生活を学ばせるということがもうひとつであるという。現にモンテアズールでは、欧米や日本からのボランティアが、モンテアズールの NGO で活動していた。

モンテアズールの NGO 活動は、総合的なコミュニティ開発であるが、現在では大きく分けて4つくらいの活動がある。すなわち、幼少期教育、職業訓練・所得向上 (リサイクル品の製造、手芸、家具製造、等)、文化活動 (劇等)、保健衛生活動、である。JICA のサンパウロ支所では、このうち保健衛生活動に関する開発福祉支援を実施中である。

所感

モンテアズールでのコミュニティ創造活動は、たった一人の外国人女性が始めた活動で、それが大きな成功を取めていることは、驚きでもあり、印象深いものであった。定森氏によれば、氏も学生時代に、モンテアズールで1年間ボランティアをした経験者の一人である。たった一人のドイツ人女性が始めた活動は、現在では200人を超えるスタッフとブラジル国内及び諸外国からの青年ボランティア数十名を抱えるNGO活動へとつながった。今回、幸運にもウテ氏に会って、20分ほど彼女の話聞くことができた。

ウテ氏は、小柄な女性で年齢は60歳代であると見受けられた。落ち着いた立ち居振る舞いと穏やかな話し方が印象的であり、全身から優しさと強さが溢れているように感じられた。20分程度という短い会話の中で、「なぜ、あなたはブラジルでこのような活動を始めたのですか？」という問いに、「ブラジルの人たちが好きだった。そして何より、自分の前に、貧困のために教育を受けられずに不幸な境遇に陥っている子どもたちがいたら手を差し伸べるのは、自然の感情だった」と答えた彼女には、何の気負いもなかった。

ウテ氏との面会時間はとても短いものであったが、彼女は今回出会った人々の中でもっとも印象に残った人の一人である。

Management Sciences for Health の保健指導員 (Ms. Caryl Feldacker)

の活動について

今回の調査団で新たに明らかになった事実として、Management Sciences for Health (MSH) から派遣されている、保健指導員の存在がある。従来、MSH は、マニコレ市の病院に対して、医師及び看護師を指導する目的で、USAID の資金により、看護師を 1 名派遣していた。この MSH のプロジェクトは、2003 年 8 月をもって終了し、調査団がマニコレ市に入ったときには、既にその看護師は引き上げた後であった。それに代わって、2003 年 2 月より、MSH から CHWs に対する指導を目的として、新たに保健指導員 (Ms. Caryl Feldacker=キャロル) が活動を開始していた。キャロルの活動については、定森氏も詳しく承知していなかったため、定森氏、Ms. Feldacker、富田団員の 3 名にて、HANDS のプロジェクト開始後のキャロルと HANDS の協力体制について協議した。

(1) 身分、活動内容、活動対象者、及び活動時期

- Ms. Feldacker の身分：

University of Michigan の研究員であり、MSH の USAID への支援申請に基づき、University of Michigan から派遣されている。従って、彼女の給与は University of Michigan から支給されており、活動にかかる経費は USAID から支給される。

- 活動内容：

Ms. Feldacker が USAID に申請した活動内容は、以下の 3 つに集約される。

- ア) リプロダクティブヘルスに関する指導と性感染症の実態把握 (統計資料の整備)
- イ) コミュニティ生活向上プログラムの立案・実施
- ウ) 環境教育指導

- 活動対象者： CHWs とコミュニティ住民

- 活動時期： 2003 年 2 月～2005 年 1 月 (2 年間)

(2) プロジェクト実施後の HANDS との協力関係について

Ms. Feldacker が定森氏と富田団員に語ったところによると、彼女が期待する HANDS-JICA プロジェクトとの連携は、次のようなものであった。

- Ms. Feldacker の活動は、上記の内容及び対象者を変更することはできない。これは USAID との契約である。
- Ms. Feldacker は、あくまでも CHWs を対象として活動を続けていくので、HANDS はむしろ病院の医師や看護師を対象とした活動をしていって欲しい。Ms. Feldacker は看護師等医療関係の資格を持っておらず、医師や看護師に対する指導が行えない。HANDS の竹井氏は、看護師資格を持っているので、CHWs に対するセミナーよりは医師らに対するセミナーを実施して欲しい。
- Ms. Feldacker の実施するリプロダクティブヘルス及び性感染症 (特に HIV/AIDS) に関するセミナーはごく初歩的なものであるため、竹井氏には中級から上級のセミナーを実施して欲しい。また、性感染症の実態把握の資料は、竹井氏の活動に役立ててもらってもよい。

以上のような Ms. Feldacker からの提案を受け、HANDS 及び JICA 側としては、彼女のプロジェクトと HANDS-JICA のプロジェクトとの協力が可能であると判断し、Ms. Feldacker と協議を継続した結果、以下のとおりプロジェクト実施について合意した。

- HANDS の活動は、CHWs に対するものを主体とすることには変わりがない。ただし、リプロダクティブヘルスに関する初歩的セミナーは、Ms. Feldacker の活動に委ね、それ以外の内容を中心として、竹井氏のセミナーを実施する。
- Ms. Feldacker の収集した資料については、竹井氏も有効活用する。
- 従来、医師や看護師に対する指導は、事業提案に盛り込まれてはいなかったが、今後日本の HANDS と相談して、竹井氏の活動の範囲に含めるよう検討する。

以上

7. 団長所感

ブラジルのアマゾナス州における JICA の技術協力事業は、地理的關係やインフラの未整備等の関係でなかなか実施に至らなかった経緯があります。今回の草の根技術協力事業は、ブラジルの中でもアマゾン川流域のなかなか日本としても手をつけることの出来なかったアマゾナス州のど真ん中で実施されるということ、また保健分野において直接に地域住民に裨益するという2つの点で大変にユニークな案件であると思います。本調査団は現地マニコレ市での滞在は6日間でしたが、その間マニコレ市保健局や同市内にある保健関連施設をはじめ、市街から遠く離れた何ヶ所かのコミュニティーを訪れ現状を調査することが出来ました。

アマゾン川流域の人々の暮らしは想像以上に厳しく、主食もマンジョカと川で捕れる魚で、自給自足の生活を何千年と続けてきたことについては何人も知るところですが、特に保健衛生やリプロダクティブ・ヘルスの面では、ブラジルの他の地域と比べても立ち後れており、連邦政府からも実質上見放されておりました。近年、連邦政府や州政府も力を入れるようになってきているようですが、地域によってかなりばらつきがあり、比較的良好な場所は、当該市の市長や保健関係者の意識が高く、強い働きかけや自分自身の努力によるところが大であるとも言えます。ここマニコレ市については、2000年頃から現市長を中心として保健関連の予算を州政府から取り相当なてこ入れを行ってきております。そういった意味からも、マニコレ市をカウンターパートとし保健ワーカーの能力向上を目指す本プロジェクトは実現可能性が高く意味があります。

また、先方との協議の中で、当方から、プロジェクト終了時の自立発展性について担保するためにミニッツの原案に「マニコレ市の関与」について相当なところまで求めましたところ、市長をはじめとする保健関係者は気持ち良く応じました。我々調査団は、本プロジェクトの将来にわたるサステナビリティを痛感しました。マニコレ市は北海道の半分の面積にたった4万人が住むアマゾナス州の中でもそれ程大きな市ではありませんが、ここマニコレから始まった活動が、本プロジェクトで実施予定のセミナー等で拡大され、広くアマゾン川流域の全ての人々に貢献することを願って止みません。

最後に、アマゾン川流域は、この地球にとって酸素を生み且つ供給する極めて大切な地域であることは言うまでもありません。この地に居住する草の根の人々に対して人間的な暮らしをするためのノウハウや、環境を配慮しながら生活をするためのノウハウを伝え、結果としてアマゾナス州の保健衛生の環境改善について試みる本プロジェクトは重要ですし、世界中の人々に対しまして日本のタックスパイヤーに対しても容易に説明が出来るまさしくユニークな草の根技術協力事業であると確信いたします。

以上

「ブラジル国草の根技術協力事業実施にかかる事前調査団」

団長 吉田 丘

資 料

- (1) Minutes of Meetings (写)
- (2) プロジェクトサイト地図
- (3) マニコレ市保健局組織図

THE MINUTES OF MEETING
BETWEEN
THE JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY AND
MANICORE CITY BRAZIL
ON
THE JICA PARTNERSHIP PROGRAM
FOR
STRENGTHENING COMMUNITY HEALTH SERVICES IN AMAZON

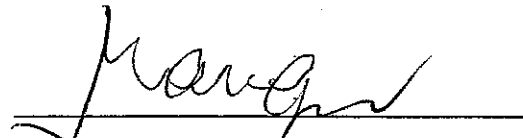
The JICA Preliminary Survey Team for JICA Partnership Program (hereinafter referred to as "Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Takashi YOSHIDA, Deputy Managing Director of the JICA Tokyo International Centre (hereinafter referred to as "TIC") visited the Municipality of Manicore, State of Amazonas, the Federative Republic of Brazil from July 23, 2003 to July 28, 2003 exchanged views and had a series of discussions with Municipality of Manicore for the purpose of working out the details of activities and measures to be taken by JICA and Municipality of Manicore concerning the "Project for Strengthening Community Health Services in Amazon (hereinafter referred to as the "Project")," which will be implemented in collaboration among JICA, Health and Development Service (hereinafter referred as to HANDS), and Municipality of Manicore under the JICA Partnership Program.

As a result of the discussions, all parties agreed to implement the Project based on the conditions referred to in the document attached hereto.

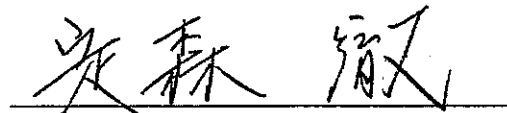
Manicore, July 25, 2003



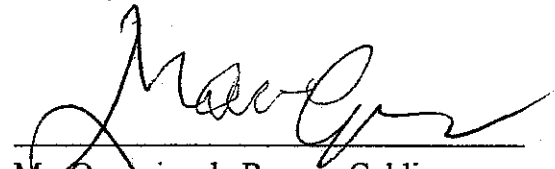
Mr. Takashi YOSHIDA
Team Leader, JICA



Mr. Manoel de Oliveira Galdino
Mayor,
Municipality of Manicore



Mr. Toru SADAMORI
Project Manager, HANDS



Ms. Osmarina do Rosario Galdino
Secretary of Health,
Municipality of Manicore

Witnessed by



Mr. Hiroshi MATSUTANI
Coordinator for Technical Cooperation of
Japan in Brazil, JICA

ATTACHED DOCUMENT

I. Implementation of the Project

1. JICA, the executing agency for technical cooperation of the Government of Japan, will implement the Project under the JICA Partnership Program in collaboration with HANDS.
2. The Project will be implemented in accordance with the Project Outline, which is given in Annex.

II. Measures to be taken by JICA

1. To implement the Project efficiently and effectively, JICA will supervise the overall implementation of the Project. Based on a contract to be signed by JICA and HANDS, JICA will entrust the actual implementation of the Project to HANDS.
2. JICA will bear only those expenses it considers necessary for the implementation of the Project.
3. JICA will maintain ownership of the equipment or facility to be procured through its funding for the implementation of the Project in accordance with the Project Outline, which is given in Annex throughout the Project implementation period.

III. Measures to be taken by Municipality of Manicore

1. The authorities concerned of Municipality of Manicore will cooperate with HANDS in assuring the successful implementation of the Project.
2. The authorities concerned of Municipality of Manicore will provide HANDS and JICA with necessary information such as data, map and documents that will allow efficient and effective implementation of the Project.
3. The authorities concerned of Municipality of Manicore will provide HANDS and JICA with necessary information about details on security conditions.
4. As for the equipment or facility mentioned in II. 3., when the equipment or facility is deemed necessary for the sustainable and effective continuation of the activity by Municipality of Manicore, ownership of the equipment or facility after completion of the Project will be considered and determined through consultation among the parties

資料 (1) Minutes of Meetings (English)

concerned before the completion of the Project.

5. HANDS and Municipality of Manicore will bear responsibility for the maintenance of the equipment or facility.
6. Municipality of Manicore will bear necessary administrative costs such as transportation fee and allowance for its staffs.
7. Municipality of Manicore will make necessary efforts to authorize the rules and manuals, which are drafted by Municipality of Manicore and HANDS through the Project, for the activities of the community health workers (hereinafter referred to as CHWs) and for the supervision of CHWs.
8. Municipality of Manicore will continue the activities of the Project such as training and supervision of CHWs after the completion of the Project.

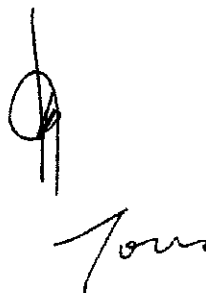
IV. Mutual Consultations

Any major issues that may arise from or in connection with this attached document shall be resolved through mutual consultations by all parties concerned.

V. Other Matters

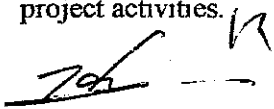
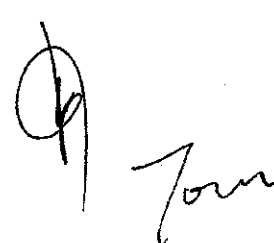
The original documents of the Minutes of Meetings are written in both Portuguese and English.

ANNEX : The Project Outline *u*



ANNEX: THE PROJECT OUTLINE

1. Country : Federative Republic of Brazil
2. Title of the Project : "Project for Strengthening Community Health Services in Amazon, Brazil"
3. Background and Necessity of the Project: As a consequence of the lack of adequate health care services and the high level of poverty in general, the basic health needs of river communities in Manicore are often left unattended. There is urgent need to expand basic community health services to these hard-to-reach population through strengthening CHWs.
4. Project Purpose: Improvement of health status of the population in Municipality of Manicore through strengthening the capacity of CHWs.
5. Target Area : Municipality of Manicore, State of Amazonas
6. Target Group: Entire population of the Municipality of Manicore, with specific attention to women and children who are vulnerable to various infectious diseases and reproductive health problems.
7. Expected Outcomes and Indicators :
 - CHWs' capacity is strengthened to assess and provide care for major diseases, and to provide public health education. (Indicators: Results of performance tests of CHWs)
 - CHWs can appropriately complete and submit monthly reports to the Manicore Municipal Health Secretariat on time. (Indicators: Monthly report submission rate and its quality)
 - CHWs can identify patients who need to be referred to the state hospital and make necessary arrangements. (Indicators: Number of patients referred to the state hospital)
 - CHWs can make appropriate community diagnosis based on the health information that they gathered and plan necessary actions. (Indicators: Results of performance tests of CHWs)
8. Project Term : approximately two and half years from September, 2003 (no longer than three years)
9. Implementing Organization : HANDS , Manicore Municipal Health Secretariat
10. Main Activities of HANDS : (See the attached "Project Design Matrix (PDM)" below)
11. Past Activities and Achievements in the Target Country of HANDS: Since 2000, HANDS has been successfully implementing training activities targeting CHWs guided by Japanese experts in close collaboration with the Manicore Municipal Health Secretariat. Also, HANDS provided basic medical equipment to CHWs to support their activities in remote communities. Currently, HANDS has sent a nurse/public health specialist to Manicore supported by JICA to develop future project activities.

Project Design Matrix (PDM)

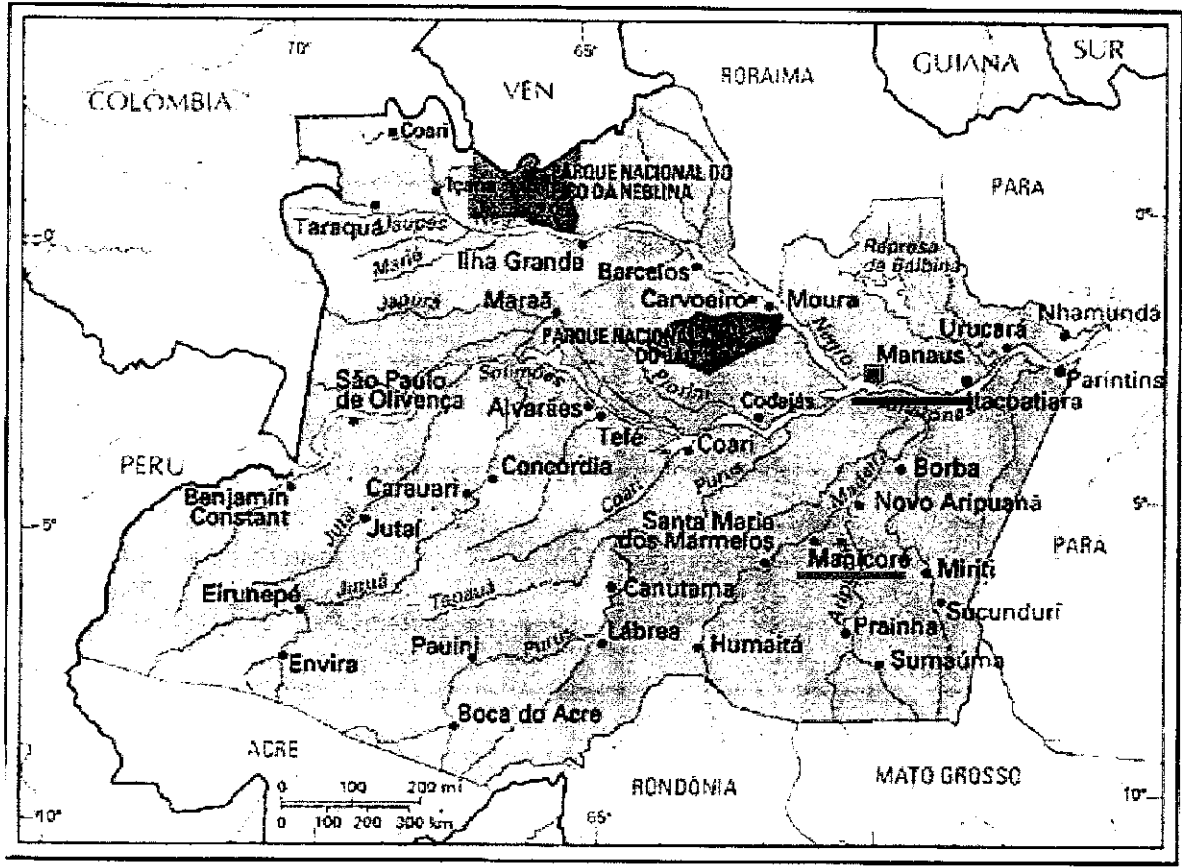
Title of the Project: Project for Strengthening Community Health Services in Amazon, Brazil Target Area: Municipality of Manicore, State of Amazonas Counterpart organization : Manicore Municipal Health Secretariat Target Group: Community Health Workers

Summary of Project	Indicator	How to obtain a indicator	External condition
(Goal) Improvement of health status of the population in Municipality of Manicore	<ul style="list-style-type: none"> • rate Under 5-child Diarrhea prevalence rate, ARI prevalence • Under 5-child mortality rate • Maternal mortality rate 	<ul style="list-style-type: none"> • Monthly report of CHWs • Monthly report of CHWs • Monthly report of CHWs 	<ul style="list-style-type: none"> a. Basic policies of health services in Municipality of Manicore are maintained b. Municipality of Manicore's technical and logistical supports to health services are maintained
(Project purpose) Strengthening the capacity of Community Health Workers (CHW) in Municipality of Manicore	<ul style="list-style-type: none"> • # of people who have access to such health services as: Antenatal care, Emergency obstetric care, Infant care, Immunization, Diarrhea • ARI, Prescribe ORT, Home Visit, TB • Diabetes • Hypertension etc 	<ul style="list-style-type: none"> • Monthly report of CHWs 	<ul style="list-style-type: none"> c. Basic policies of health services in Municipality of Manicore are maintained d. Municipality of Manicore's technical and logistical supports to health services are maintained e. Natural disasters do not occur
(result) 1. CHWs' capacity is strengthened to assess and provide care for major diseases, and to provide public health education. 2. CHWs can appropriately complete and submit monthly reports to the Manicore Municipal Health Secretariat on time. 3. CHWs can identify patients who need to be referred to the state hospital and make necessary arrangements. 4. CHWs can make appropriate community diagnosis based on the health information that they gathered and plan necessary actions.	<ul style="list-style-type: none"> 1-1 Performance of CHWs 2-1 Monthly report submission rate 2-2 Monthly report quality 3-1 Number of patients referred to the state hospital 4-1 Performance of CHWs 	<ul style="list-style-type: none"> 1-1 Performance tests of CHWs 2-1 Monthly report of CHWs 2-2 Monthly report of CHWs 3-1 Health data of Manicore Municipal Secretariat of Health 4-1 Performance tests of CHWs 	<ul style="list-style-type: none"> f. Basic policies of health services in Municipality of Manicore are maintained g. A job description of CHWs is not changed h. CHWs stay in his/her position
(Activity) 1-1 Conduct training of CHWs on ARI and TB 1-2 Conduct training of CHWs on safety water and prevention of diarrhea 1-3 Conduct training of CHWs on antenatal care 1-4 Conduct training of CHWs on HIV/AIDS 1-5 Develop a guideline to supervise CHWs 1-6 Monitor and evaluate the effectiveness of above mentioned training through supervising CHWs 2-1 Conduct training of CHWs on monthly report writing 2-2 Develop a guideline to supervise CHWs' monthly report writing 2-3 Supervise, monitor and evaluate CHWs' monthly report writing 3-1 Develop a form to refer patients to the state hospital 3-2 Conduct training of CHWs on the use of referral form 3-3 Develop a guideline to supervise the referral activities by CHWs 3-4 Supervise, monitor and evaluate CHWs' reference-related activity 4-1 Conduct training of CHWs on diagnosis of community health situation using the data from monthly reports 4-2 Develop a guideline to supervise the diagnostic activity by CHWs using their monthly reports 4-3 Supervise, monitor and evaluate CHWs' diagnostic activities	<p style="text-align: center;">Japan side</p> <p><Human resource></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Project manager (Sadamori) 2. Project officer1 (Health Care)/ Project coordinator in Manicore (Takei) 3. Project officer 2 (Community Health) 4. Project officer 3 (Monitoring and Evaluation) 5. Local Technical staff 6. Local technical assistant 7. Local administrative assistant 8. Tokyo office coordinator (HANDS) <p><Equipment></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Stationery for training 2. Tools for data management (PC et al) 3. Radio bleeper for referral of patients 4. Motorboat for supervision 5. Office equipment 6. Kit for CHWs (Blood pressure apparatus, Stethoscope, Weighing scale, Thermometer, T-shirt, Backpack etc) 	<p style="text-align: center;">Brazil side</p> <p><Human resource></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Director of Manicore Municipal Secretariat of Health 2. Nurse of Manicore Municipal Secretariat of Health 3. Mayer of Municipality of Manicore 4. COIABI (local NGO) 5. Gethal Amazonas SA (Company of tropical plywood) 6. MSH do Brazil (Brazil office of International NGO) <p><Project cost></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Project cost (gas, electricity, water, petrol, telephone, furniture, house rent etc) 	<ul style="list-style-type: none"> i. Exist trainee <p>(Prerequisite condition)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Manicore Municipal Secretariat of Health is highly motivated to implement the project

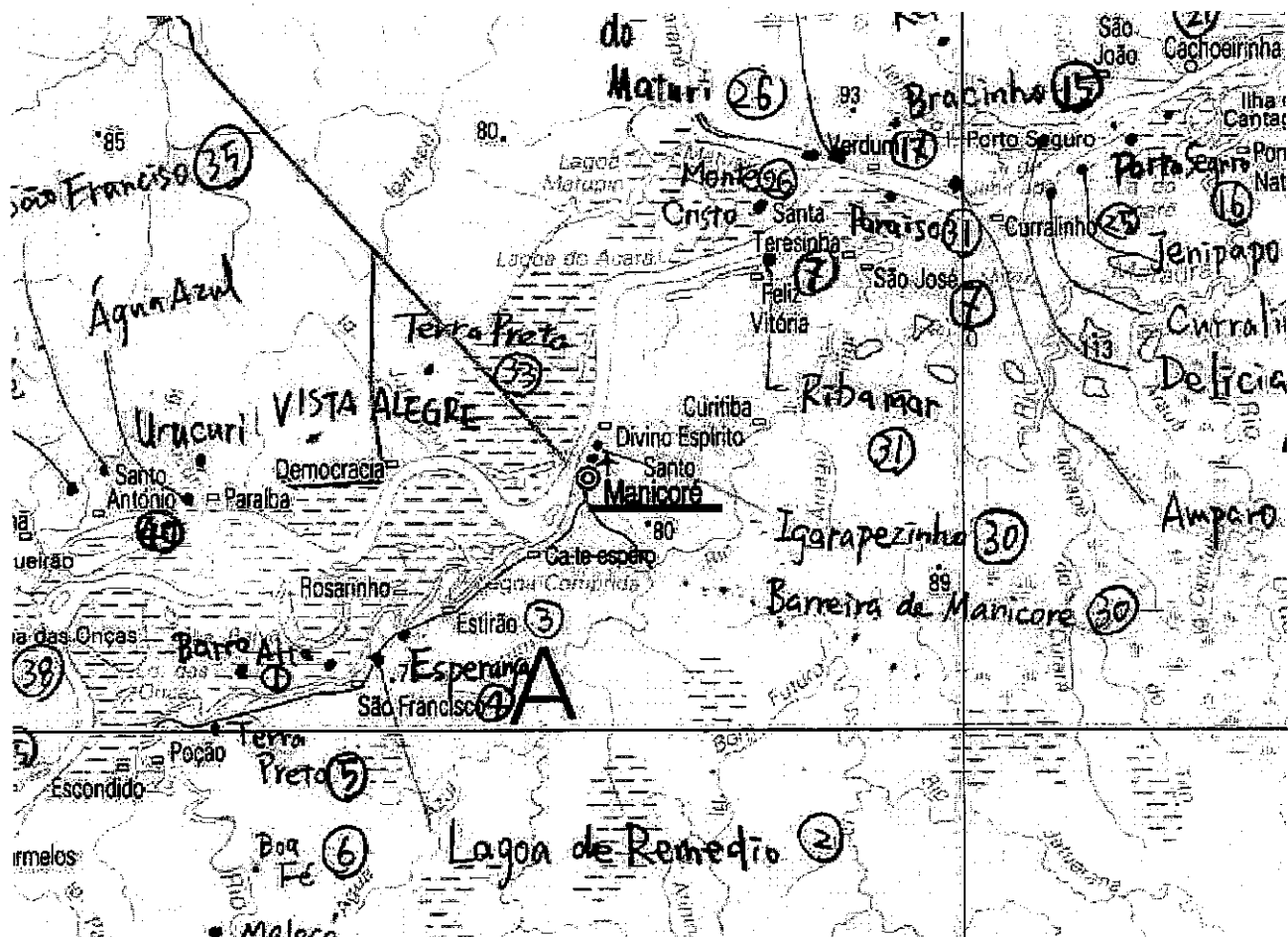
Tom

[Handwritten signature]

資料(2) - ② アマゾン州全体地図



資料(2)-④ 今回調査地 (Esperança, Democracia, Terra-Preta, Jaguaruana)



今回調査団調査地

Esperança (エスペランサ)・・・ 7月25日

マニコレ川右岸。マニコレ市内より上流部へ高速艇(時速40km程度)で約50分の距離。

Democracia (デモクラシア)・・・ 7月27日

マデイラ河左岸。マニコレ市内より上流部へ高速艇で約1時間の距離。

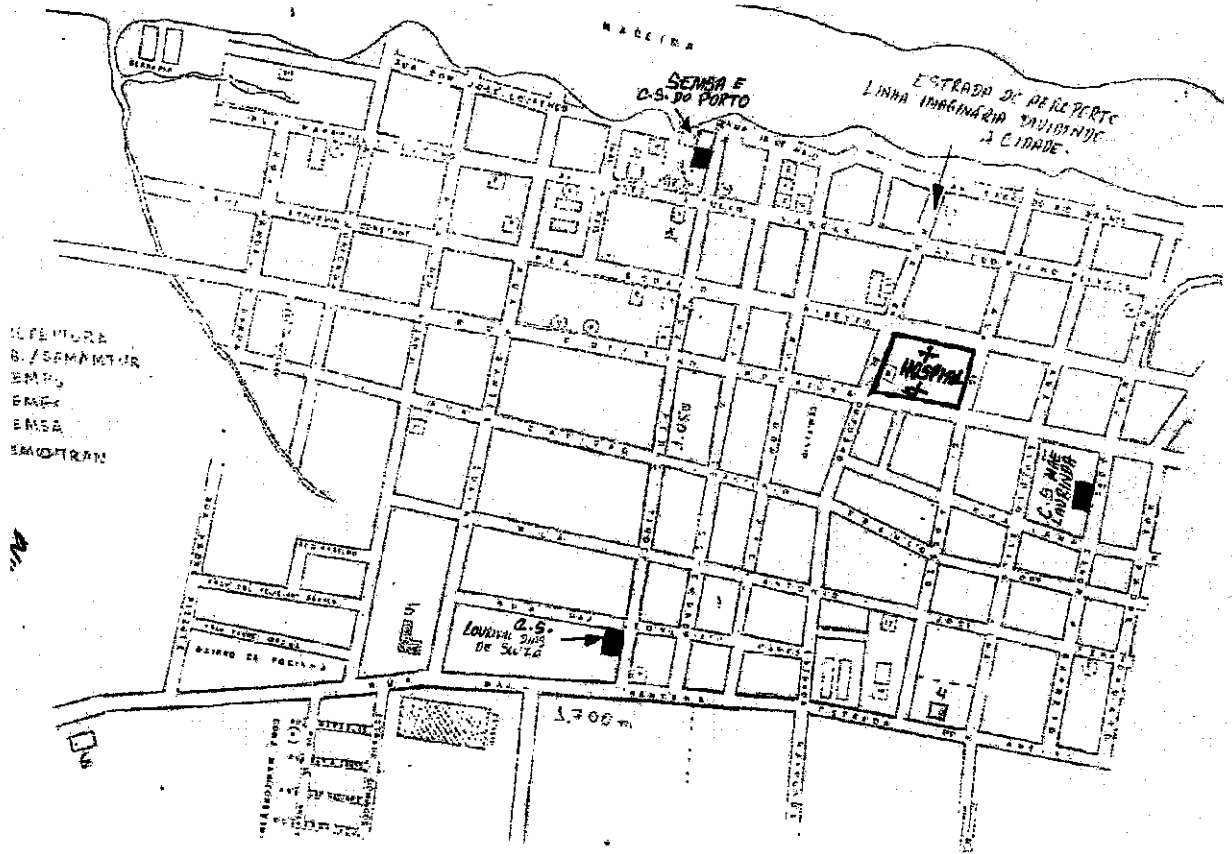
Terra Preta (ターハ・プレタ)・・・ 7月27日

マデイラ河左岸。デモクラシアから陸路、車で20分程度の距離。

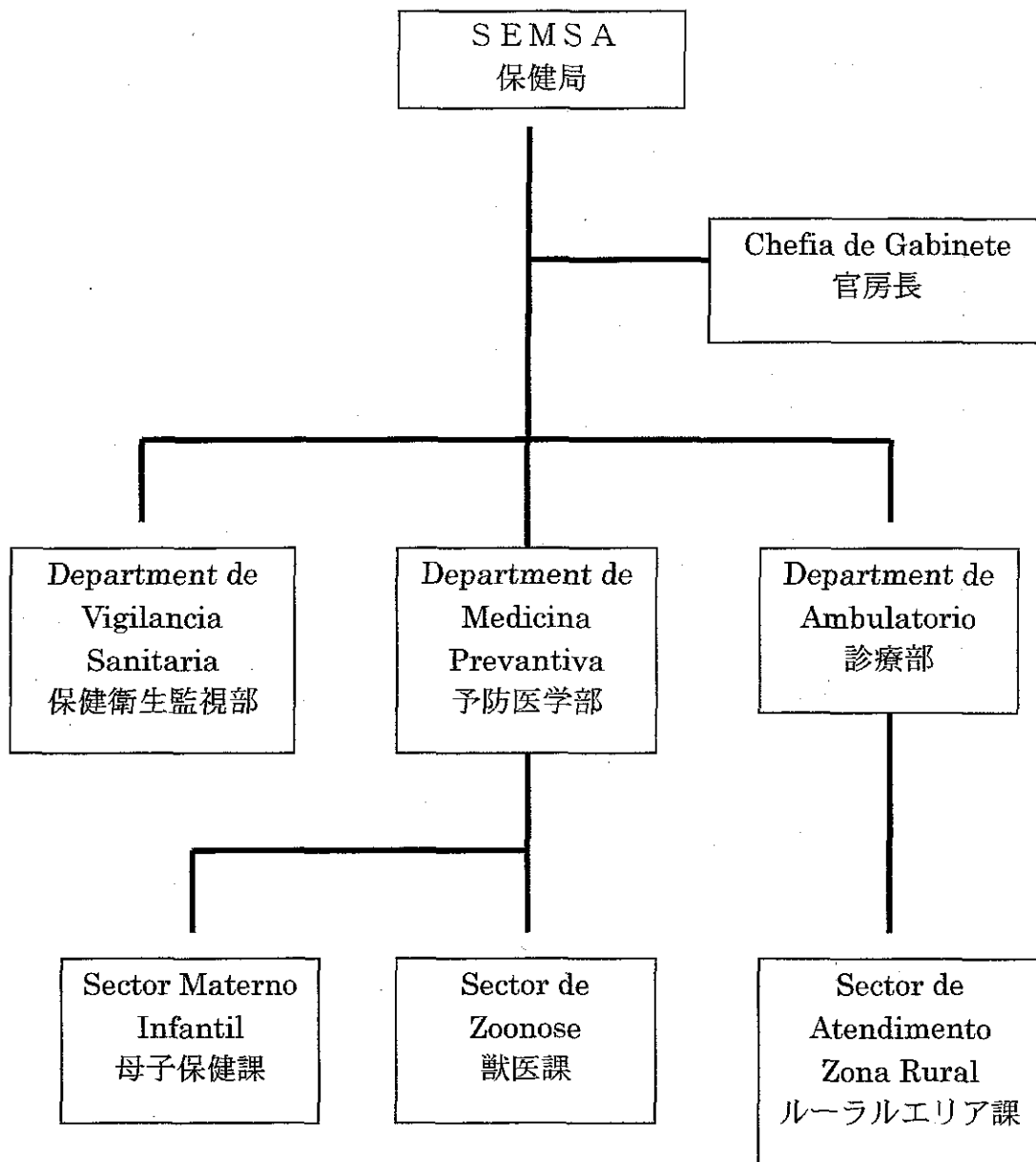
Jaguaruana (ジャグアルアーナ)・・・ 7月27日

マデイラ河左岸。デモクラシアから下流部へ高速艇で約10分程度の距離。コミュニティは支流沿いに奥地へ伸び、最奥の地点までは陸路で徒歩1時間程度。雨季には支流を小型船で溯る。

資料 (2) -⑤ マニコレ市内



資料(3) マニコレ市組織図(ポルトガル語-日本語対訳)



JICA

7
9
11